

国内災害ボランティア 活動報告書

医学群医学類 3年

海野彩花

1. 概要

令和6年能登半島地震・令和6年奥能登豪雨石川県災害ボランティア本部を通し、輪島市で10/13-10/14の2日間活動しました。活動内容としては、家屋内の泥掃除と屋外の泥出しを行いました。

2. 活動動機

東日本大震災で被災した経験から災害支援や防災活動に興味を持ち、何度か災害に対するボランティアを行ってきました。9月下旬に奥能登で水害が発生し、その深刻な状況を見て自分にできることは何かを考え、今回水害のボランティアに参加しました。

3. 活動内容

1日目は、河川氾濫によって家屋内に泥水が流入した御自宅で、汚れてしまった場所の掃除をしました。部屋や物の細部まで泥がついていて掃除に苦労しました。土砂で使えなくなってしまった家財をじっと見つめる御家族を見て、使えるものは丁寧に心を込めて掃除しようと思いました。

2日目は、輪島塗職人の御自宅で、水害被害に遭った家財の運び出しと泥出しを行いました。輪島塗食器や製作に使われる道具が泥に浸かっている様子を見て、切ない気持ちになりました。水分を含んだ重い木材を運んだり、大量の泥をかき集める必要があり、とても苦労しました。職人の方は輪島塗工房の立て直しを目指していて、何度も大変な経験をして、また立ち上がろうとする姿に感銘を受けました。

4. 感想

能登半島地震から半年が過ぎ、復興の兆しが見えてきた矢先に、豪雨が発生しました。町には傾いた家屋や電柱、ひび割れた道路など、地震の跡も未だに残っていました。活動を通

して、地域の方が少し笑顔になられたときや、ありがとうと言ってくくださったときは、本当に嬉しかったです。

今回のボランティア活動で、支援は今後もしばらくは必要になると実感しました。能登半島の現状が報道されることが少なくなってきましたが、まだ支援は必要だということを少しでも多くの人に伝えられるように、自分にできることは何かを考えていきたいと思います。